

No. 32

昭和39年5月25日発行

発行 千葉県長生郡長南町役場
印刷 茂原市町保 遠山印刷 K, K

すべての児童は

人として尊ばれる

社会の一員として重ぜられる

よい環境のなかで育てられる

すべての児童は

適当な栄養と

住居と被服が与えられる

すべての国民は

子女に九年の普通教育を

受けざせる義務を負う

学校給食は

一、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。

二、学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。

三、食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること。

四、食糧の生産、配分及び消費について、正しい理解に導くこと。

元県議会議長

白井翁の碑

岩川出身の元県議会議長故白井喜右衛門翁の生前の功績をたたえ頌徳碑を建立し、遺徳を永遠に伝えようとの趣旨のもと、有志が建碑計画中のところ、高吉勤之助氏をはじめ、ゆかりの方々、農業団体等の多くの方の協賛により区全域及び町内の多くの方の協賛を得て建碑のはこびとなり、三月五日出生の地岩川において遺族の方々の御列席のもと建立除幕式が挙行された。

望をしたう。明治三十年には推されて県議会議長に選ばれ県民を代表して御大典の盛儀に列す。更に明治三十五年には町政の紊乱甚だしき香取郡佐原町長に就任、英断を振つて町政を刷新、忽ちにして円滑なる町政を確立、町民の熱望に答えたり、元より私財に淡く終始一貫操守の堅雄を以て知られ翁の意志を継ぐ後に故糸井玄、故閔和知、故大森金五郎、故及川二郎等、多数の名士隆統として、地域の政治文化の道を開く。

正に翁の御遺徳の偉大さを示すものなり。昭和三年三月一日再度、農榮村長として奉職中逝去す。

今、茲に吾等郷党的有志と相謀り翁の生前の功績を称し、頌徳碑を建立し、御遺徳を永遠に伝えんと

南の薦たこは、もつとも優れたものとして需要が多く、明治の終り頃から大正の初期にかけては、全盛期でありその生産高も年産五万貫に達し、長崎町の日大寺

東電茂原営業所長南派出所が二月二一日から廃止されています。従来の業務のうち次のことは役場前の大森商店で取り次いでおります。

④食事の前後に必ず流し水で手を洗う。

この「みどり」と書いて「ちばねんこわいの」は赤痢と食中毒。その予防のイロハは一

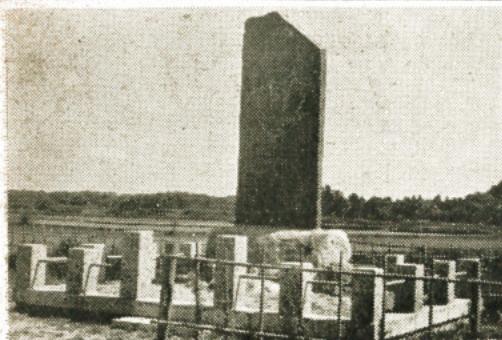
二、移転、廃止、引越及び入居による電気の再使用その他簡単な申し込みの取り次ぎ

三、定額電球の引換 四、その他電気についての相談 球び取り次ぎ等です。

洞谷正一氏

慢性腎炎高血圧症のため、山之内病院に入院療養中去る三月二十

氏は長南町合併初代助役として敏腕を發揮し、氏の死去は各方面よりいたく惜しまれ告別式には多くの会葬者に見送られた。



◆つゆ時の健康

、人気のあつたのは十二枚かせいぜい十八枚であつた。これらはあくまで初節句用で遊びにあげるのではなく半分が普通だつた。

A detailed botanical line drawing of a lily-of-the-valley flower, showing its bell-shaped corolla and the characteristic three-lobed structure.